

ལྷན་བཅས་རྒྱལ་འགྲེལ།

チベット医学

四部医典
医学タンカ詳解

第一卷

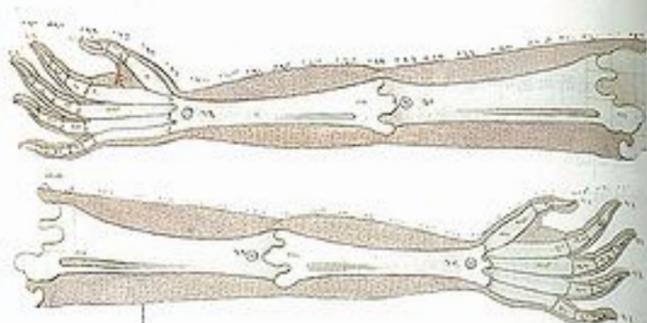
監修 オツアンツォクチェン



PILAR
PRESS

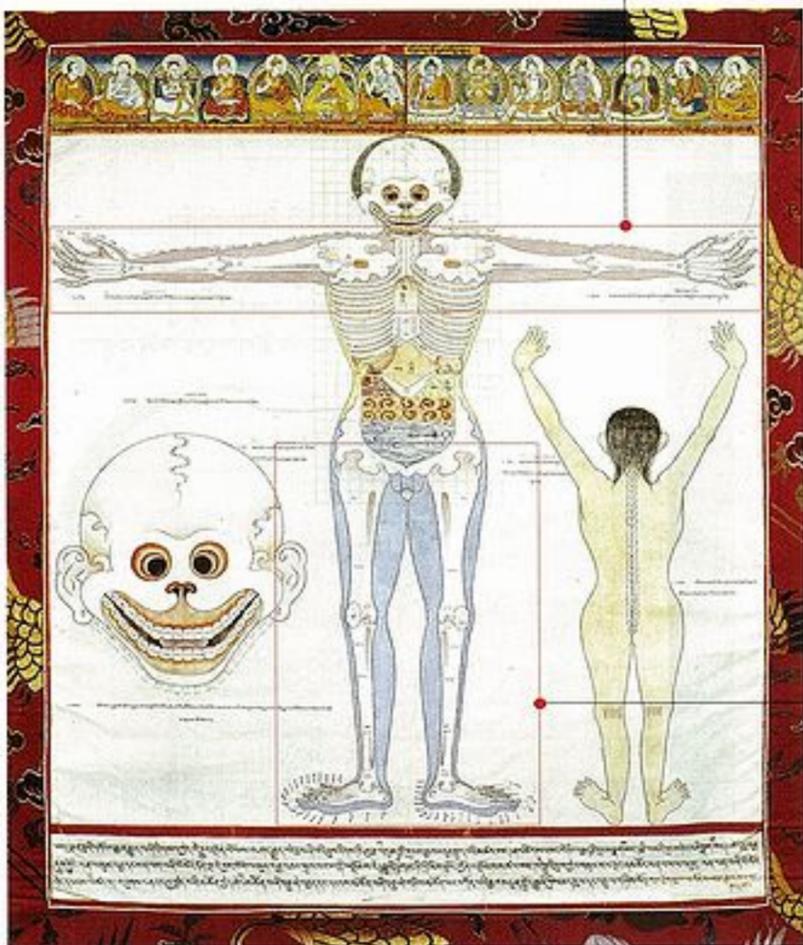
4.4 上肢の小関節の数

上肢の小関節は34か所ある。各手指に3か所あり、左右合わせて計30か所あり、肘関節と手関節の両側にそれぞれ1つずつの小関節があり、合計34か所ある。



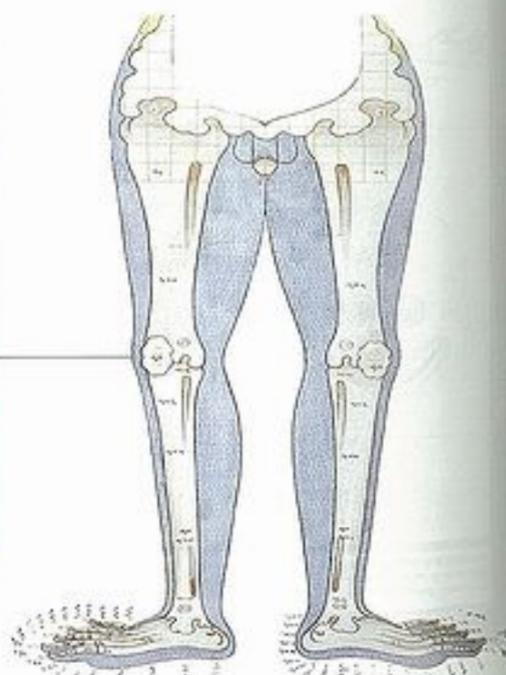
4.4 上肢の小関節の数

上肢の小関節は34か所ある。各手指に3か所あり、左右合わせて計30か所あり、肘関節と手関節の両側にそれぞれ1つずつの小関節があり、合計34か所ある。



4.5 下肢の小関節の数

下肢の小関節は34か所ある。各足趾に3か所、左右合計30か所あり、膝関節、足首の大関節にそれぞれ2か所の小関節があり、合計34か所ある。

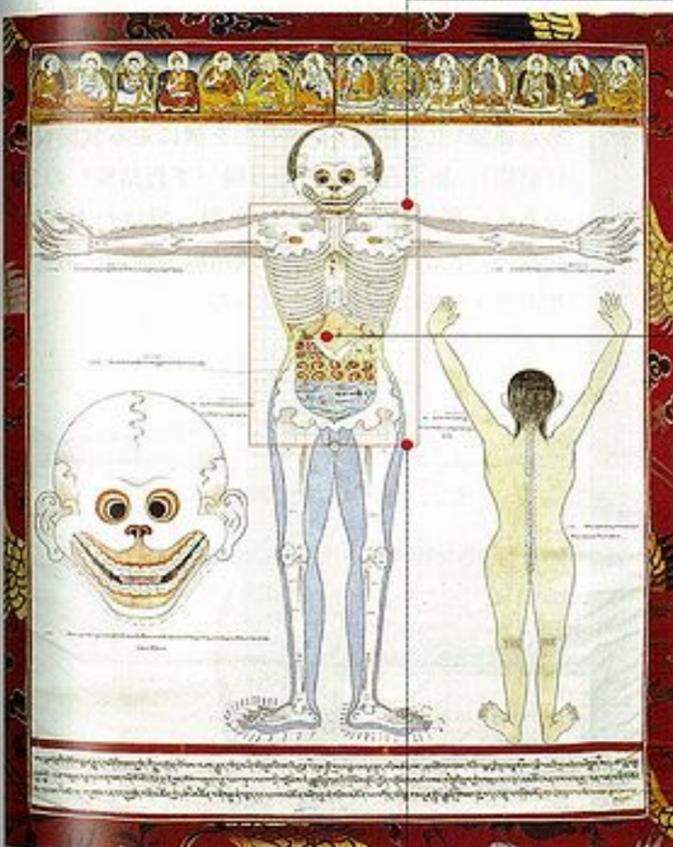
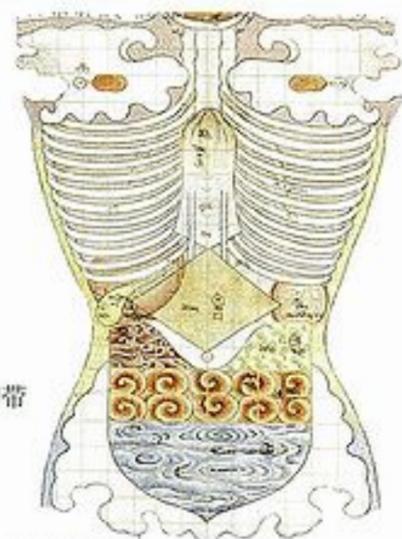


4. 結核菌の分布

結核菌は肺に多く分布するが、他の臓器にも分布する。肺に多く分布するが、他の臓器にも分布する。肺に多く分布するが、他の臓器にも分布する。

5. 16本の靭帯

人体には16本の靭帯がある。そのうち人体正面に属するのは脊椎内面の靭帯である。すなわち脊柱内面の両側を通る2本の前縦靭帯のことである。



6. 毛穴の数

人体には3,500万の毛穴がある。そのうち首から上に700万個、体幹に1,400万個、四肢にそれぞれ350万個、合計3,500万個となる。

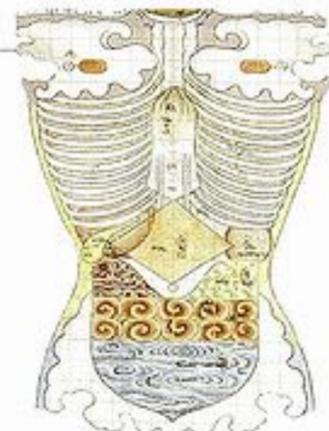


6. 毛穴の数

人体には3,500万の毛穴がある。そのうち首から上に700万個、体幹に1,400万個、四肢にそれぞれ350万個、合計3,500万個となる。

7. 五臓

五臓とは心臓、肺、肝臓、脾臓、腎臓である。心臓は胸腔中央にあり尖ったほうが上を向いている。肺は胸腔の左右にあり、肝臓は腹腔の右肋骨の下にある。脾臓は腹腔の左肋骨の下にあり、腎臓は下腹部左右にある。



6.13.3 མི་ཆེལ།

མི་ཆེལ་གྱི་རྩ་མཐུན་ལ་ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་། ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་། ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་། ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་། ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་། ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་། ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་། ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་།

6.13.4 人油

病氣以外、例えば転落や武器などで突然亡くなった壮年の人の脂肪。味は甘味。消化後の性質は温性で、心臓ルン病、婦人科ルン病などのルン病、および水疱などの皮膚病に効果的である。



6.14 རྩོམ་ཆགས་ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་།

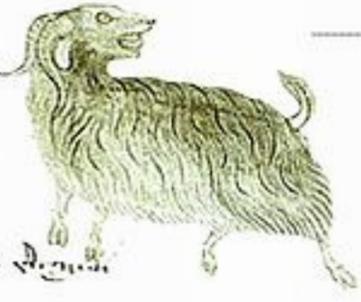
6.14.1 ཡཱ་གི་ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་།

རྩོམ་ཆགས་ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་། ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་། ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་། ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་། ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་། ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་། ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་། ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་།

6.14 脳類

6.14.1 ཡཱ་གི་ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་།

このヤギは家畜で、一般的に農村地区で多く見かける。哺乳草食動物で、体型は綿羊に似ているが、やや大きい。あごひげがあり、毛は粗く、色は白や黒が多い。岩山を登るのを得意とする。味、消化後の味ともに甘味で、腱や筋を癒合させる効能がある。



6.14.2 རྩོམ་ཆགས་ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་།

ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་། ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་། ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་། ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་། ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་། ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་། ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་། ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་།

6.4.12 羊の脳

この羊は家畜で、毛の色は白や黒など種類が多い。雄羊は角があり、湾曲している。蹄は割れている。味、消化後の味ともに甘味で、脳震盪や眩暈などの治療に用いる。



6.14.3 ཡཱ་གི་ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་།

ན་བའི་ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་། ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་། ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་། ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་། ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་། ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་། ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་། ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་།

6.14.3 アカシカの脳

アカシカは深山に生息する野生動物で、首、四肢は長く、尾は短い。全身の毛は黒みを帯びた灰色で、四肢の腋下部分は灰色、体はノロに比べてやや大きい。下痢に効果的である。

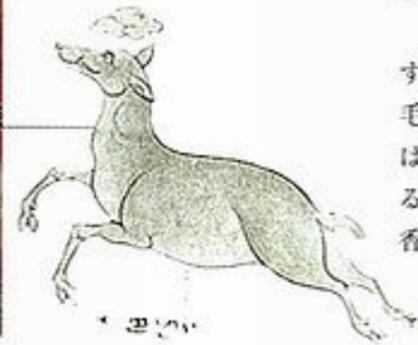


6.14.4 གློ་མེད་ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་།

སྤྲོ་མེད་ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་། ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་། ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་། ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་། ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་། ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་། ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་། ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་།

6.14.4 キバノロの脳

麝香鹿の一種で、小型野生動物に属する。首と耳はやや長く、尾は短い。毛の色は褐色、毛は粗く、硬毛の先端は黒褐色、背毛は黄褐色や紫褐色である。雄は犬歯があり、膾の分泌物は麝香になる。寒・熱性下痢に効果的である。

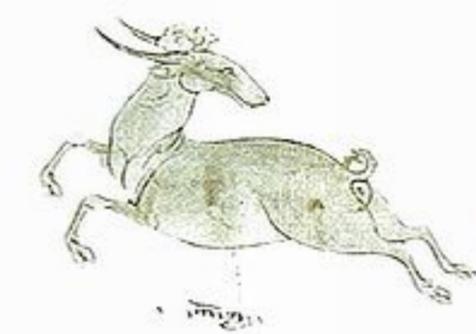


6.14.5 ཇི་བཱེ་ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་།

དཀོ་བའི་ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་། ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་། ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་། ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་། ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་། ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་། ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་། ལྷན་ཁྲིའི་ལུང་།

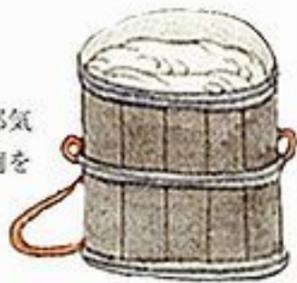
6.14.5 チベットガゼル

山地に生息する野生動物でヤギに似ている。体は小さく四肢は細く短い。頭は小さく首は長い。首と背毛は灰褐色、前頭、胸部はうすい灰色、臀部には丸く大きな斑がある。寒・熱性下痢に効果的である。



4. 乳とホエーを混合したもの

消化不良と食欲不振を改善させる効能があり、便秘を治す。パーケン病とルン邪気が引き起こす危害を取り除くことができ、ルン病に対して有益であるが、軽い下痢を引き起こす。



5. ヨーグルト

乳を発酵させてできたヨーグルト、あるいは乳に酵素を加えて煮詰めてできた凝固物である。消化不良や食欲不振を改善し、便秘を治す。パーケンとルン邪気による危害を治すが、軽い下痢を引き起こす。



6. 搾りたての乳

子牛を生んだばかりの牛から搾った乳は消化不良と食欲不振を改善させる効能があり、便秘を治し、パーケンとルン邪気が引き起こす危害を取り除く。しかし軽い下痢を引き起こす。



7. 酪素

バターを取り除いたバターミルク、あるいはホエーを煮詰めたあとの液、あるいはヨーグルトを煮詰めたあとに凝固した酪素である。消化不良と食欲不振を改善させる効能があり、便秘やパーケンとルン邪気が引き起こす害を治すが、軽度の下痢を引き起こす。

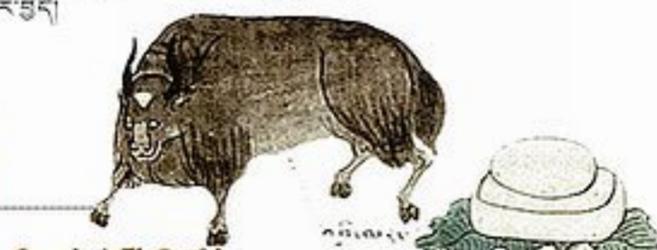


8. 乳の入った桶に溜まった油

常用するミルクの樽の中に凝固した油。消化不良と食欲不振の改善、胃エネルギーを出す効能がある。古い桶の底にたまった油は寒性ルン病を治すが、軽い下痢を引き起こす。



9. ヤク乳のバター

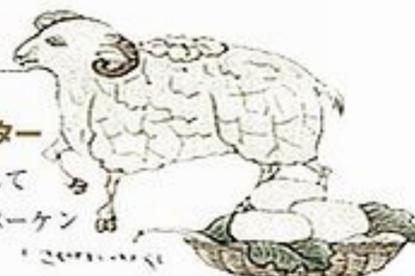


9. ヤク乳のバター

ヤクの乳を攪拌してできたバターは、パーケンとルン病を治すことができる。胃エネルギーを出す効能がある。古いバターは寒性ルン病を治すが、軽い下痢を引き起こす。

10. 綿羊乳のバター

綿羊の乳を攪拌してできたバターは、パーケンとルン病を治し、胃エネルギーを出す。古いバターは寒性ルン病を治すが、軽い下痢を引き起こす。



10. 綿羊乳のバター

綿羊の乳を攪拌してできたバターは、パーケンとルン病を治し、胃エネルギーを出す。古いバターは寒性ルン病を治すが、軽い下痢を引き起こす。

11. 「ゾ」乳のバター



11. 「ゾ」乳のバター

雌のヤクと雄の黄牛の交配種であるゾの乳でできたバターは、寒性ルン病を治し、胃エネルギーを出す。古いバターは寒性ルン病を治すが、下痢を引き起こす。

